

町民のひろば

皆さんが参加するコーナーです。
目よりな情報やご意見、ご質問など気軽にお寄せください。
総務企画課広報広報統計係 内線257

さわちゃん劇場

(沢口浩 作・画) 60

葛巻流もらい方の巻



あおい 葵ちゃん
木戸場 (3歳1カ月・小苗代)

久幸さん・真紀子さん2女



ゆうあ 優空くん
大上 (3歳3カ月・田子)

康志さん・志穂さん長男



怖いもの知らずで打たれ強く、やんちゃな葵。お母さんには掃除や洗濯のお手伝い。お父さんには「お疲れさま」と言って冷蔵庫から缶ビールを1本!!なんと、気が利く口の達者な働き者の葵です。何があっても負けない、強く、たくましい子に育ててほしいです。
真紀子

初対面の人には人見知り。でも本当は頑固でわんぱくな優空。消防車や救急車が大好きで音が聞こえると外に飛び出して見えています。お父さんの操法競技会のビデオを真似て、ゴムホースを延ばしたり抱えたり小さな操作員です。元気で優しい子に育ててね。
志穂

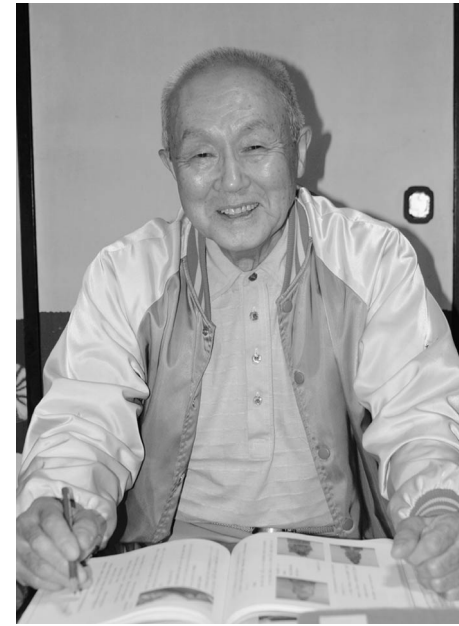
ハイ・元気です

173

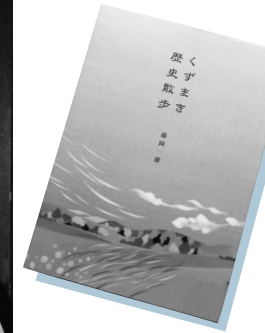


上打田内ヨシノさん
(81歳・茶屋場)

三年前に転倒し、足が少し不自由なためほとんど家の中で過ごしています。毎日、一時間ほどかけて新聞に目を通すこと、ボケ防止のためにも昔から好きだった編み物をするのが日課だそうです。「長生きをすれば酸いも甘いも見えてきました。でも、今こうしていられるのは隣近所のお友達に恵まれ、助けてもらっているおかげ」と感謝の心を忘れないヨシノさんです。



前教育長の
藤岡 一雄
さん



広報連載コラム
「くずまき歴史散歩」を出版

歴史を知る 郷土の宝もの

町の前教育長・藤岡一雄さん(76・平船)は「くずまき歴史散歩」を自費出版しました。藤岡さんが平成六年四月から十年間にわたって広報「くずまき」に連載した「ふるさと歴史散歩」に、連載当時の主な出来事も今回加えての一冊。町内の神社仏閣から各地の伝説、地名の由来など町の歴史にまつわるさまざまな事柄が分かりやすく解説されています。「あつという間の十年間でした。連載は苦にならなかったです。楽しく書きました」と当時を振り返る藤岡さん。昭和四十七年から現在まで町の文化財保護委員として実際に足で歩き

●「くずまき歴史散歩」
A5版 280頁 1,200円
表紙の装画、挿絵：本村加代子さん(藤岡さんの教え子で東京で活躍する田代出身のイラストレーター)
町内2書店と岩手町、盛岡市の一部書店で販売

土地の人から「聞き、「見た」ことを生き生きとした文章で綴ったこの一冊。「郷土の大切な宝もの」と編集に携わった町の前生涯学習課長の高家卓範さん(60・江刈川)は感慨深げに語ります。「ふるさと葛巻を理解する一助になり、ふるさとを愛する縁になれば」と前教育長さんは思いを込めました。



林 まさよし 義さん (20歳・新町)

オリジナルワインの製造を!!

- ◆勤め先は？
平成19年3月に葛巻高校を卒業し、葛巻高原食品加工(株)で研修生として働いています。ワインの醸造が担当で、ミスをしないように、温度管理には特に気を使っています。
- ◆自分の性格は？
マイペースです。
- ◆趣味・特技は？
小学生の頃から続けているバスケットボールです。体協にも所属していますが、なかなか練習に行けないのが残念です。
- ◆今、やりたいことは？
レゲエの音楽が好きで、「横浜レゲエ祭」に行くのが夢です。
- ◆理想の女性像は？
笑顔のステキな人。
- ◆将来の目標は？
早く仕事を覚えて一人前になり、将来は自分オリジナルのワインを作りたいです。
- ◆最後に一言。
9月から新酒の仕込み作業が始まります。益々おいしいワインを作りたいと思いますので、これからもくずまきワインをよろしく願います。



[13] 広報くずまき・平成20年9月1日



CM撮影の様子(星野自治会)



広報くずまき・平成20年9月1日 [12]

今日のシムツ
8月のあれこれ